

大学院国際協働演習 (Advanced International Collaborative Learning)

【科目コード】 26009470

【更新日】 2022/08/01 (月)

授業の概要

本学では、グローバル化が加速する社会において、活躍し続けることのできる技術者(グローバル・エンジニア)に必要な要素をグローバル・コンピテンシー(GCE)として、それらの涵養を目指している。その方策のひとつとして、「留学生との協働学習」を掲げており、本授業では、本学留学生や海外からの短期訪問学生等とのグループワークなどの協働学習を行う。異文化理解の促進、国際的な視野の獲得のほか、国際的な環境下でのコミュニケーション力、協働学習力等の獲得や研究遂行能力の向上を目指す。

※ オンラインでの活動も学習時間に含むことができる。

カリキュラムにおけるこの授業の位置付け

グローバルエンジニア養成コース (GEコース) の上級GCE実践科目である。

工学府の修了要件上は、実践実習科目である。

授業項目

「短期受入れプログラムによる外国人学生との交流」、「研究室内での外国人留学生との学習」、「バディの活動」などの留学生(海外からの受入れ学生を含む)との協働学習(活動)を必須とし、そのほか、「国際共同研究プロジェクトへの参加」、「国内外で開催される国際学会での発表と質疑応答」、「海外の招へい研究者による講義の受講と質疑応答」等の海外における学習とみなすことが可能な活動や単位認定されていない「海外研修プログラムへの参加」をあわせて、30時間以上の学修時間で1単位相当とする。

授業の進め方

本学留学生や海外からの短期訪問学生等とのグループワークなどの協働学習を中心に、授業項目に記載された活動を行い、活動報告書とレポートを提出する。

授業の達成目標 (学習・教育到達目標との関連)

それぞれのプログラム・プロジェクトの到達目標によるほか、以下の到達目標を掲げる。

1. 多様な文化の受容
2. コミュニケーション力の向上
3. 自律的学習力の向上
4. 課題発見力・解決力の涵養
5. デザイン力の涵養

成績評価の基準および評価方法

・それぞれのプログラムおよび上記達成目標の(1)~(5)の各項目の達成度について、活動報告書とレポートによって評価する。

※活動報告書では30時間以上の活動時間に時間外学修時間を加えて、合計45時間の学修時間を確認します。

※留学生は別途設定する課題の実施と報告書の提出に代えることが可能である。

授業外学習 (予習・復習) の指示

自主学習として、留学生の出身国の文化や習慣、歴史について調査・確認をしておくこと。また、活動報告書およびレポートを作成するため、研修内容などを整理しておくこと。

キーワード

協働学習、グローバルコンピテンシー

教科書

教科書はなし。資料を配布することがある。

参考書

参考書はなし。

備考

なし

電子メールアドレス

主指導教員に相談すること